

# 一・二級小型船舶操縦士学科試験

## 一般科目 (問1～問50)

問題

A

受験番号

### 【注意事項】

1. 各問題の解答は、必ず別紙解答用紙に記入すること。
2. 各問題の解答は、4つの選択肢のうちから1つだけ選ぶこと。

### 【二級受験者の受験科目及び試験時間】

受有している免許	受験科目	試験時間
無し	一般科目 (問1～問50)	1時間10分
二級(1海里限定) 特殊	交通の方法・運航 (問13～問50)	55分

海技士資格受有者の受験科目と試験時間は別に定める。

配点及び合格基準は、リーフレット(一・二級小型船舶操縦士試験について)を参照のこと。

一級受験者の受験科目及び試験時間は、上級科目の表紙に記載しています。

## 【小型船舶操縦者の心得及び遵守事項】

問1 小型船舶で航行する場合の注意事項として適切でないものは、次のうちどれか。

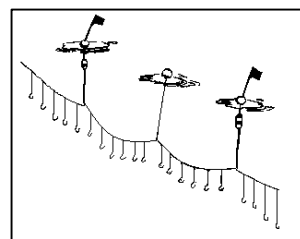
- (1) あらかじめ水域を調べて、浅瀬や暗礁などの位置を確かめておく。
- (2) エンジントラブルが起きても、簡単な修理は自分でできるようにしておく。
- (3) 水上で事故が起きて救助を求めても、救助者の到着には時間がかかることが多い。
- (4) 漁業やダイビングなどを行っている水域は、標識によって見分けられるようになっている。

問2 操業中の漁船に対する注意事項として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 操業中は漁に集中していて、見張りを十分にしていない場合がある。
- (2) 自船の進路上にいる場合は、早めにホーンなどを鳴らして避航を求める。
- (3) 操業の形態は、漂泊をしていたり錨泊をしていたりとさまざまである。
- (4) やむを得ず近づく場合は、引き波を立てないように航行する。

問3 右図に示す「はえ縄漁業」について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 漁具の長さが数キロメートルに達するものもある。
- (2) 遠洋の海域で大型魚だけを対象に行われる漁法である。
- (3) 漁具は、日によって違う場所に設置されている。
- (4) 漁具の両端には目印となるブイなどが設置されている。



問4 プレジャーボートの衝突事故の発生原因として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 航法不遵守
- (2) 船体点検不十分
- (3) 操船不適切
- (4) 見張り不十分

問5 小型船舶の船長の責任について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 衝突や乗揚げ事故を起こすと、行政処分を受けることがある。
- (2) 事故にともなって死傷者が発生したときは、刑事責任を問われることがある。
- (3) 事故を起こした場合、損害賠償責任を問われることがある。
- (4) 同乗者が起こした事故の場合は、民事責任を問われることはない。

問6 小型船舶の船長が注意しなければならない事項として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 操縦者の免許と乗船する船舶の両方に適合した航行区域内を航行すること。
- (2) 交通量が多く大型船も通航している航路であっても、航路内を航行すること。
- (3) 係留は、保管契約を結んだか許可を受けた場所に行き、不法係留や無断係留はしないこと。
- (4) 早朝や夜間に入出港するときは、まわりの住民に迷惑をかけないように注意すること。

問7 小型船舶に乗船する場合の服装について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) 出航するときに晴れていれば、雨具は準備しなくてもよい。
- (2) 軽快で動きやすく、素肌の露出が少ない服装がよい。
- (3) 靴やブーツは底が柔らかく、滑りにくいものがよい。
- (4) 陸上よりも寒さを感じやすいので、上着を1枚余分に準備しておくほうがよい。

問8 プレジャーボートの保険について述べた次の文のうち、適切なものはどれか。

- (1) 自動車の保険のような、強制保険制度になっている。
- (2) 船体の損傷だけが補償の対象となっている。
- (3) 水上オートバイは保険に加入することができない。
- (4) 自分の船の運航状態に合った保険を選ぶようにする。

問9 小型船舶の船長の遵守事項について述べた次の文の( )の中に当てはまる語句として適切なものは、下のうちどれか。 (小型船舶操縦者法)

「小型船舶に乗船する場合は、エンジンの有る無しにかかわらず、できるだけライフジャケットを着用したほうがよい。特に( )に乗船して航行する場合は、ライフジャケットの着用が法令で義務付けられている。」

- (1) ヨット (2) 旅客船 (3) 水上オートバイ (4) 遊漁船

問10 二級小型船舶操縦士の資格で航行することができる区域として定められているものは、次のうちどれか。 (小型船舶操縦者法)

- (1) 平水区域のみ  
(2) 湖や川と海岸から2海里以内の水域まで  
(3) 平水区域と海岸から5海里以内の水域まで  
(4) 海岸から20海里以内の水域まで

問11 定期検査に合格した小型船舶に対して交付される書類として誤っているものは、次のうちどれか。 (船舶安全法)

- (1) 譲渡証明書 (2) 船舶検査証書 (3) 船舶検査手帳 (4) 船舶検査済票

問12 環境への配慮として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 騒音や大気汚染につながるので、エンジンの悪質な改造を行わないようにする。  
(2) 出航前の点検時は、できるだけエンジンの回転を上げて調子確かめるようにする。  
(3) 岸から十分に離れるまで、必要以上にスピードを上げて航行しないようにする。  
(4) 生態系に与える影響を小さくするため、環境対応型のエンジンを使うようにする。

## 【交通の方法】

問13 接近する2隻の船舶に衝突するおそれがあるとき、互いに針路を右に転じなければならないのは、次のうちどの場合か。 (海上衝突予防法)

- (1) 動力船と動力船が真向かいに行き会う場合  
(2) 帆船と帆船が真向かいに行き会う場合  
(3) 動力船が帆船を追い越す場合  
(4) 帆船が動力船を追い越す場合

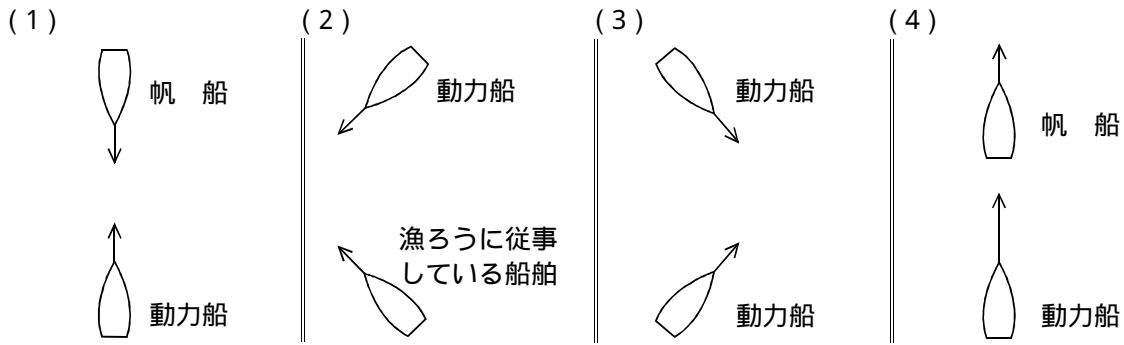
問14 夜間、航行中のA動力船が、その船首方向に他の動力船の灯火を認めた。「追越し船の航法」に基づき、衝突のおそれがあると判断し、A船が避航動作をとらなければならないのは、他船のどのような灯火を認めたときか。次のうちから選べ。 (海上衝突予防法)

- (1) 他の動力船のマスト灯と右舷灯 (2) 他の動力船のマスト灯、右舷灯及び左舷灯  
(3) 他の動力船のマスト灯と左舷灯 (4) 他の動力船の船尾灯のみ

問15 航行中の2隻の動力船が互いに進路を横切り衝突するおそれがあるとき、他の動力船を右舷側に見る動力船は、やむを得ない場合を除き、どのような動作をとってはならないか。次のうちから選べ。 (海上衝突予防法)

- (1) 針路を左に転じること (2) 他の動力船の船首方向を横切ること  
(3) 機関を停止すること (4) 投錨すること

問16 保持船の航法において、避航船が適切な避航動作をとっていないことが明らかになったため、保持船が衝突を避けるための動作をとろうとするとき、やむを得ない場合を除き、針路を左に転じてはならない場合に該当するものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)



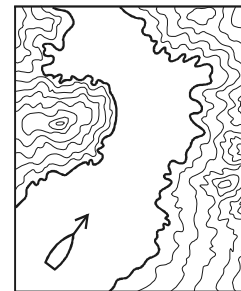
問17 各種船舶間の航法における、避航船と保持船の関係を示した下表のうち、誤っているものはどれか。(海上衝突予防法)

	避航船	保持船
(1)	漁ろうに従事している船舶	操縦性能制限船
(2)	帆船	操縦性能制限船
(3)	運転不自由船	漁ろうに従事している船舶
(4)	帆船	運転不自由船

問18 見張りについて述べた次の文のうち、正しいものはどれか。(海上衝突予防法)

- (1) 進行方向の見張りに意識を集中する。
- (2) 双眼鏡は、見える範囲が狭くなるので使用しない。
- (3) 夜間は、レーダーによる見張りだけを行う。
- (4) 航行中、<sup>びょうほく</sup> 錨泊中にかかわらず、注意深く行う。

問19 右図に示すように、他の船舶を見ることができない狭い水道のわん曲部に接近する船舶が行った次の動作のうち、誤っているものはどれか。(海上衝突予防法)



- (1) 長音1回の汽笛信号を行った。
- (2) 左岸側へ寄って航行した。
- (3) 速力を落とした。
- (4) 耳をすました。

問20 法定灯火の種類とその色を示した次の組合せのうち、正しいものはどれか。(海上衝突予防法)

- (1) マスト灯 ..... 白色
- (2) 右舷灯 ..... 紅色
- (3) 左舷灯 ..... 緑色
- (4) 船尾灯 ..... 黄色

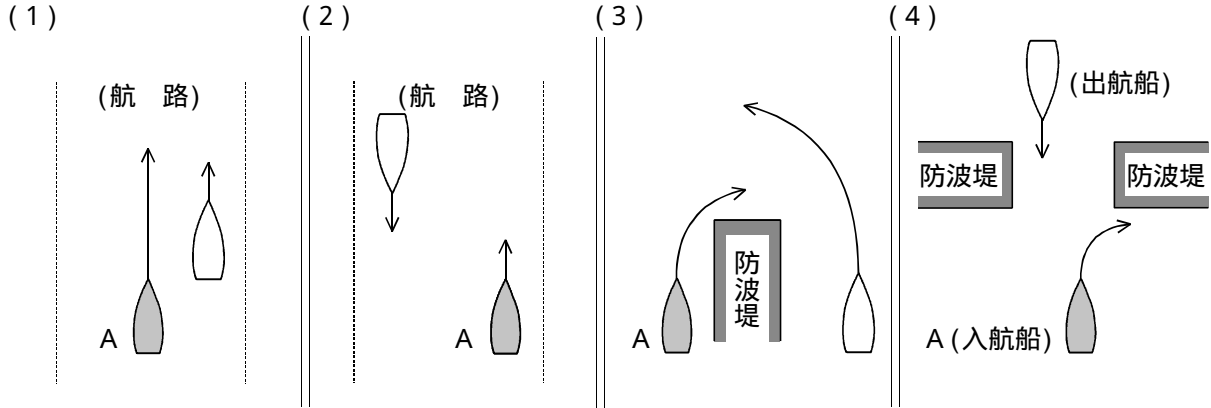
問21 昼間、船舶が表示しなければならない形象物とそれを表示している船舶との組合せとして正しいものは、次のうちどれか。(海上衝突予防法)

- (1) ... <sup>びょうほく</sup> 錨泊中の船舶
- (2) ... 漁ろうに従事している船舶
- (3) ... <sup>えいこう</sup> 曳航作業中の船舶
- (4) ... 操縦性能制限船

問22 視界制限状態にある水域において、長さ12メートル未満の船舶が、2分を超えない間隔で行わなければならない音響信号は、次のうちどれか。 (海上衝突予防法)

- (1) 短音1回、長音2回の汽笛信号
- (2) 短音4回の汽笛信号
- (3) 長音3回の汽笛信号
- (4) 有効な音響による信号

問23 下図は、港内を航行しているA船の状況を示したものである。A船がとった航法のうち、誤っているものはどれか。 (港則法)



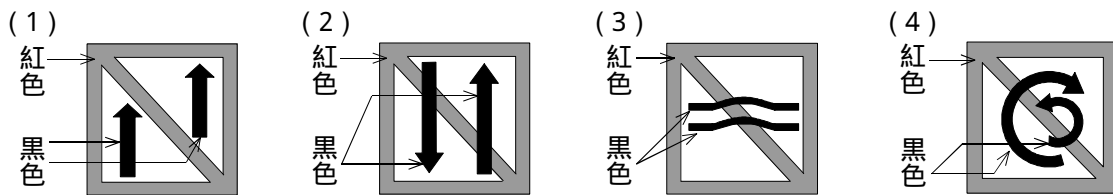
問24 港内において、雑種船が守らなければならない事項について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。 (港則法)

- (1) 雑種船以外の船舶の進路を避けなければならない。
- (2) みだりに係船浮標に係留してはならない。
- (3) 引船を用いて航行しなければならない。
- (4) みだりに他の船舶の交通の妨げとなるおそれのある場所に停泊してはならない。

問25 海上交通安全法の適用海域と、その海域に設けられた航路を示した次の組合せのうち、誤っているものはどれか。

- (1) 伊勢湾 ..... 伊良湖水道航路
- (2) 東京湾 ..... 水島航路
- (3) 瀬戸内海 ..... 備讃瀬戸東航路
- (4) 瀬戸内海 ..... 来島海峡航路

問26 次の河川通航標識のうち「行会い・追越し禁止」を表すものはどれか。 (河川法)



**【運航】**

問27 小型船舶の操縦特性について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

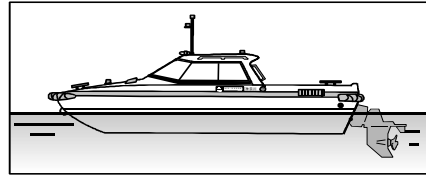
- (1) 向かい波より追い波を受けて航行すると、舵効きがよい。
- (2) 船の型に関係なく、速度が速いほど舵効きがよい。
- (3) 一般に、船内機船より船外機船のほうが舵効きがよい。
- (4) 船内機船では、後進時よりも前進時のほうが舵効きがよい。

問28 次の底質のうち、錨地として最も適しているものはどれか。

- (1) 岩
- (2) 砂
- (3) 石
- (4) さんご

問29 右図に示す小型船舶のトリムの状態を表す用語として正しいものは、次のうちどれか。

- (1) 船首トリム (2) 船尾トリム  
(3) イーブンキール (4) トップヘビー



問30 航行中、霧によって視界が悪くなった場合の対処として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 法定灯火を表示する。 (2) 全速力で陸岸に向かう。  
(3) 見張りを行う者を増やす。 (4) 停船した後、水深を測る。

問31 他の船舶を曳航する<sup>えいこう</sup>場合の注意事項として適切なものは、次のうちどれか。

- (1) 曳航ロープは、解き放つことができないように固く結ぶ。  
(2) 視界が悪くなったときは、曳航ロープを伸ばす。  
(3) 曳航を始めるときは、できるだけ低速で引き始める。  
(4) 荷物は、すべて引かれる船に移す。

問32 磁気コンパスの自差の変化について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

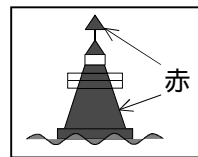
- (1) 船首方位が変わると変化する。 (2) 設置場所を変えると変化する。  
(3) 気圧が変わると変化する。 (4) 鉄器類を近づけると変化する。

問33 海図上で自船の位置を求めるときに使用しないものは、次のうちどれか。

- (1) 緯度尺 (2) 経度尺 (3) コンパス図 (4) 等高線

問34 右図に示す標識は、次のうちどれか。ただし、赤は標体の塗色を表す。

- (1) 左舷標識 (2) 右舷標識  
(3) 安全水域標識 (4) 孤立障害標識



問35 次の灯略記のうち、「単閃光」<sup>たんせんこう</sup>を表すものはどれか。

- (1) F (2) FI (3) Oc (4) AI


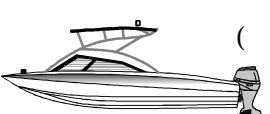


問36 海図に記載された高さ及び深さの基準面について述べた次の文のうち、誤っているものはどれか。

- (1) 山の高さの基準面は、平均水面である。  
(2) 橋の高さの基準面は、最高水面である。  
(3) 干出<sup>かんしゅつ</sup>の高さの基準面は、平均水面である。  
(4) 水深の基準面は、最低水面である。

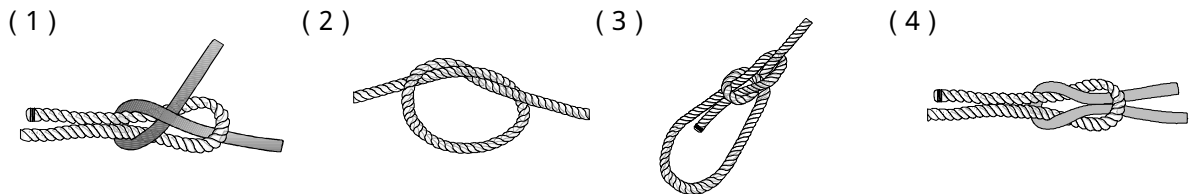
問37 次の海図図式のうち、「最低水面上に現れない岩」はどれか。

- (1)  (2)  (3)  (4) 

問38 小型船舶をエンジンの装備方法により分類した場合、「ウォータージェット船」は、次のうちどれか。

- (1)  (2)  (3)  (4) 

問39 ひとつなぎ(シングルシートバンド)は、次のうちどれか。



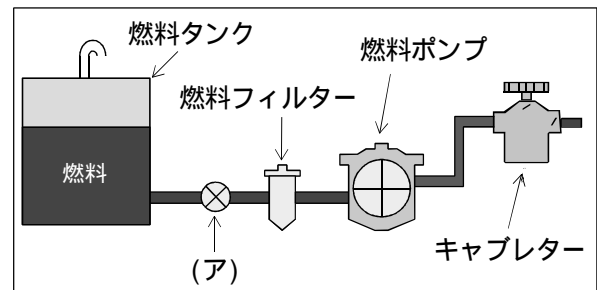
問40 出航前に点検した次の事項のうち、このまま出航するには適切でないものはどれか。

- (1) プロペラに欠けや変形がない。 (2) 船体が安定した状態で浮いている。  
 (3) ボトムプラグが開いている。 (4) ハッチが閉じてある。

問41 発航前におけるエンジンの点検箇所と、その点検要領について述べた次の文のうち、適切でないものはどれか。

- (1) Vベルト ..... エンジンから取り外し、損傷の有無を確認する。  
 (2) バッテリー ..... ターミナルの取付け状態、液量を確認する。  
 (3) 燃料 ..... 燃料計により、十分な量があることを確認する。  
 (4) エンジンオイル ... オイルレベルゲージにより、オイル量、質の確認をする。

問42 右図は、ガソリンエンジンの燃料系統を示した略図である。図中(ア)の役割について述べた次の文のうち、正しいものはどれか。



- (1) 霧状にした燃料油と空気の混合気を作る。  
 (2) 燃料通路の開閉を行う。  
 (3) 一定の圧力でエンジンに燃料油を送る。  
 (4) 燃料油中のゴミや水分を取り除く。

問43 エンジンを始動した後の確認事項として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 冷却水の漏れがないこと (2) 排気色が正常であること  
 (3) 異常な振動がないこと (4) エンジンオイルが適量であること

問44 航行中に起きた計器の異常とその対処方法を示した下表のうち、適切でないものはどれか。

	計器の異常	対処方法
(1)	冷却水温度計の示度が高い	冷却水取入口の詰まりを点検する
(2)	電流計がマイナスを示している	オルタネーターの配線接続部を点検する
(3)	油圧計の示度が低い	エンジンオイルの量を測る
(4)	満タンなのに燃料計の示度が低すぎる	燃料コックの開閉を確認する

問45 海水域で使用する船舶の防食亜鉛の交換目安について述べた次の(A)と(B)の正誤を判断し、下のうちから当てはまるものを選び。

- (A) 減りや欠けがない場合は、定期的な交換時期であっても、そのまま続けて使用する。  
 (B) 減り具合が半分程度ならば、防錆塗料を塗ってそのまま続けて使用する。  
 (1) (A)だけ正しい (2) (B)だけ正しい (3) ともに正しい (4) ともに誤っている





問46 前線の記号とその名称を示した次の組合せのうち、正しいものはどれか。

- (1) ..... 寒冷前線 (2) ..... 停滞前線  
 (3) ..... 温暖前線 (4) ..... 閉塞前線

問47 風に関する用語の説明として誤っているものは、次のうちどれか。

- (1) 「風向」は、風の吹いてくる方向を表す。
- (2) 単に「風速」といえば、10分間の平均風速を指す。
- (3) 瞬間風速の最大値を「最大瞬間風速」という。
- (4) 気象庁風力階級表による風速の尺度を「風力」といい、10段階で表す。

問48 次の月の見え方のうち、潮の干満の差が最も大きくなると推測できるものはどれか。

- (1)  (2)  (3)  (4) 

問49 荒天航行中の操縦における注意事項として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 波を船首方向から受けて航行する場合は、波に船首が突っ込む危険がある。
- (2) 追い波を受けているときは、船首が大きく振れることがある。
- (3) 横揺れの周期と波浪の周期がほぼ同調しているときは、安全な状態である。
- (4) 波浪による衝撃や揺れを抑えるためには、針路と速力を調節する。

問50 小型船舶の事故発生時の処置として適切でないものは、次のうちどれか。

- (1) 浅瀬に乗り揚げたときは、直ちにエンジンを後進にかける。
- (2) 他船と衝突したときは、人命救助を優先して行う。
- (3) 他船と衝突したときは、両船を直ちに引き離さないようにする。
- (4) 火災が発生したときは、火元が風下になるように操縦し、消火に努める。